

# 研究所だより

第326号  
2012年12月18日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

## ＜土佐清水市の将来を担う子ども達＞

下川口中学校のキャリア学習の一環としてゲストティーチャーに招かれた泥谷さん（土佐清水市役所産業振興課・課長。通称 ドロちゃん）。母校の後輩達に素晴らしいエールを送りました。

「元気プロジェクト」での取り組みや過疎化、高齢化、少子化など土佐清水市が抱えている課題、特に厳しい下川口の現状をはじめ、地域産業振興に関わっての泥谷さんの思いや、今、泥谷さんが取り組んでいる事業等について講演を行いました。その講演に対する子ども達の感想文が泥谷さんが書いているブログに載っていましたので掲載します。

（土佐清水市元気プロジェクトで検索→リンク→ドロちゃんの夢は叶う）

## 「ドロちゃんの夢は叶う」より抜粋（12月11日のブログより）

【感想文】—下川口中学校3年 東 沙織 さん  
泥谷さんのお話を聞いて、いろいろなことが分かりました。  
まず1つ目は、泥谷さんが故郷をすごく大切に思っているということです。お話を聞いて、「私も清水のそんなところが好きだなあ」と共感するところがありました。人がいい、というところや食べ物がおいしい、というところ。今もそんなところが好きだなあと思います。大人になって都会へ行ったとしたら改めて良さに気づくのだろうなと思いました。  
2つ目に、もっと清水を盛り上げようとアピールしてくれているということです。特産品のめじかなども、もっと有名になってほしいです。  
そして、清水の将来を私自身ももっと考えなければならないと感じました。今清水は過疎が進み、人が少なくなっています。その大きな理由の1つは、仕事がないことだと考えています。そんな中、泥谷さんのお話の中にもあったように、雇用の場を設けていくことが大切だと思いました。  
先ほど述べたような過疎化、高齢化、少子化など、厳しい問題はたくさんあります。しかし、私は清水が好きだし、大人になって都会に行っても帰ってきたいと思います。泥谷さん達のように、地域のために一生懸命とりくんでいる人達のようにになりたいと思います。  
自分の地域のためになること、盛り上げるための方法を、私も考えてみようと思いました。そして、これからもっとこの地域が活性化してほしいです。

泥谷さんの故郷を愛し、地域の活性化を図ろうとする熱い思いに早速応えてくれた中学生。純粋な子どもの目からみた清水の現状。的確に捉えています。

高知新聞の「声・ひろば」には、

「下川口の休校を前に」—下川口中学校3年 東 沙織 さん 10月22日付

「最後で最高の文化祭」—下川口中学校2年 村井 愛実 さん 12月5日付が掲載されました。内容は紙面の都合上割愛させていただきますが、地域や母校を愛し、地域の人達に感謝する気持ちを表したものです。

学校は、故郷を愛し、地域を愛し、将来の夢を育むことができる子ども達を育て上げなければなりません。また、大人として、清水の活性化を図る手立てを早急に着手し、この子ども達が大人になって帰ってきたくなるような土佐清水市にしないように努めます。

土佐清水市民憲章：未来をになうこどもです。みんなで育てましょう。

## ＜来年度の市教研に関わる日程＞

組織教研—4月24日（水）

一日教研—8月21日（水）：全体会が午前か午後かはまだ未定  
全体会—講師・金山 元春 先生（高知大学准教授）  
演題は未定ですが、講演内容として、  
「いじめ・不登校に関わって」  
・いじめの現状と要因（実例も含めて）  
・不登校との関連  
・現場での発見と対応

半日教研—11月6日（水）

総括教研—1月末までに

## ＜教研推進委員会の報告＞

- ①校長会との意見交換の中で出されていた件について話し合いました。その中で、
  - ・半日教研の日に、部会によっては研究授業ができない場合がある。
  - \*原則として半日教研は研究授業を主とする。また、部員構成の中で授業研が成り立たないという可能性も否定できないが、方法として、普段の日に部員以外の先生にお願いするとか、その教科の授業研に参加することも考えられる。
  - ・各教研以外に部会独自で研修会を持つことがある。その研修会の日時が重なり複数の職員が抜け、学校運営に支障を来す場合もある。ある学校では各教研以外に出張できる回数を2回と決めている。
  - \*研修回数は決めることはできないが部会の判断に委ねる。研修会が重なる点については、事前に事務局（研究所）に日時を連絡してもらう中で、重なっている場合には、こちらで日程調整をする場合がある。

## ②教研推進委員の構成について

従来、推進委員は地区別で選出していましたが、中学校統合に伴い、考慮してみてもという意見が出ました。

案として、

- ・従来通りの地区別とする。（下ノ加江地区、清水地区は2地区、半島地区、三崎地区、下川口地区）
- ・ブロック別とする。  
例えば、下ノ加江小・幡陽小、窪津小・中浜小・足摺岬小、清水小は単独、三崎小・下川口小、等が考えられる。
- ・中学校は1校のため常時。

## ＜皆様ご家族おそろいで良いお年をお迎えください

2013年がお互いの飛躍の年でありますように＞